

GRAND PRIX 2007



突如現われたスイスのニユーカマー

力強く極めてフレッシュ、そしてしなやか

Power Amplifier ソウリューション 710

●出力:120W+120W(8Ω)、240W+240W(4Ω)、
480W+480W(2Ω) ●入力インピーダンス:10kΩ
(アンバランス)、4.7kΩ(バランス) ●寸法/重量:
W480×H280×D535mm / 80kg ●バランス入力
HOT=2番ピン ●問合せ先:珠ノア ☎ 03(5272)4211

三浦 ソウリューションは、数年前から海外のオーディオショウで見かけていたブランドですが、この秋突然といった感じで日本に上陸し、その音をじっくり聴いて大変驚きましたね。

柳沢 まったくそう。ほくもとてもびっくりした。で、これはひとつ前のアキュフェーズのアンプとは対照的に、物凄く高価な製品。菅野 でも、とくにランプリでは、価格にとらわれずに優れたものを選ぶわけですし、高くても安くとも、いいものはいいと言わなければならぬ。プライスレスな考え方が必要なんです。

柳沢 もちろんそうですよ。

菅野 たしかに、多くの人が手の届く価格に優れたものがないとオーディオ界全体にとっても困りますけれども。

三浦 このソウリューションはスイスのブランドですが、同じ国、そしてやはり同じく高価なFMアコースティックスやゴールドムンドのアンプとともにまったく違う魅力を持つた音を聴かせてくださいました。

菅野 非常にフレッシュですよ。
三浦 思わずハッとしてしまう音。

菅野 物凄いインパクトがあつた。
それから、かなりの重量級であることもヨーロッパ製品としては珍しいんじゃないかな。

三浦 大型であつても、筐体内部に空間を充分とった設計が比較的多かつたですね。それらに比べてソウリューションは中がぎっしり詰まっています。

上杉 回路の詳しいことはまだわかりませんが、ソウリューション710の出力は、これだけの大型にもかかわらず、8オームでたつた120ワットしかないのですけれど、非常に大型の電源トランジスタを搭載している、平滑コンデンサーも大容量であつたりと、極めてオーバードックスな物量投入型の設計がされているようです。

柳沢 物量投入型というとアメリカのアンプに多いのですが、それらともまた、まったく違う音なんですよ。

上杉 大型アンプに時として見られる大味なところがまったくなく、非常に繊細な音です

よね。

菅野 精緻精巧です。そしてしなやかだしね。

傅 音楽の背景が本当に静かです。この静寂感はなかなか体験できません。

上杉 おかげ、物凄く力強いですから、表示パワーカラは考えられないほどドライブ力があります。

柳沢 それから仕上げも凄いですよ。あの広い平らな面を美しい梨子地にしているなんて、相当なものですね。

三浦 ベアとなるブリも素晴らしいですね。
柳沢 組み合せるとドキッとするくらい密閉気が盛り上ります。音だけで言ったら、このペアはゴールデンサウンド賞ものですよ。

スイス、ソウリューションの最高級ステレオパワー。1956年設立の電機メーカー、ジュベモット社が2000年に創設したブランドである。美しく仕上げられたアルミ製筐体全体で放熱を行なう設計で、6ミリ厚鋼板を介してシャーシに結合される出力段は7パラレルブッシュブル構成。出力は8オームで120ワットだが、発表されているデータを見ると2オームまではほぼ完全にパワーが保たれている。入力段と電圧増幅段間に独自のリニア補正回路を挿入し、通常のNFBを用いずに歪みを低減、優れたリニアリティを実現しているという。電源部は1000VAトランジス2基と総計25万マイクロファラッドのフィルタコンデンサーを投入した強力なもの。試験記は今号掲載。